

こんどうぼさつりゅうぞう
11. 金銅菩薩立像

■ 指定日

平成9年4月8日

■ 種別

兵庫県指定有形文化財 彫刻

■ 年代

飛鳥時代

■ 所在地

朝来市和田山町和田山

■ 所有者

円龍寺



■ 内容

但馬最古の金銅仏である。開山上人欣求離厭(ごんぐりえん)和尚の護持仏といわれる。頭部宝髪前に水瓶をおき、左右の耳の上に位置した宝冠の飾りと好対称をみせている。身体には珠を2重につらねた瓔珞をつけ、尊体はやや左にひねり加減で、かつては阿弥陀三尊の脇仏であったと推察される。側面観はきわめて扁平で、肩にかかる天衣、裳のおりかえし、裾のひろがりなどに白鳳彫刻の表現がみえる。